

「わたしの好きなこと」

伊東市立南中学校三年 浦山 瞳子

みなさんは好きなこと、好きな物がありますか。私は英語が好きです。文法がわからない、単語を覚えられないなどの理由から、苦手な人も多い教科だと思います。また、自分は日本人なのだから英語なんか勉強しなくてもいいと思っている人もいるかもしれません。でも、私は日本以外の地域に住む人と会話ができると考えるとワクワクするし、普段から話している日本語とは違う言語が話せると、かっこいいと思います。

修学旅行中に出された英語の課題は、京都を旅行している外国人に静岡の魅力を紹介するというものでした。全く知らない外国人と話すのは緊張しました。でも、班のみんなと協力して行った事前準備を思い出してみんなで話しかけに行きました。すると、完璧な英語でなくても、何とか相手に自分たちの伝えたいことを伝えられたのです。少しだったけれど、知らない外国人と会話ができたことで自分に自信がついたと思います。

この経験から新たな目標ができました。それは海外に留学することです。留学をすれば英語を話す力が身につくだけでなく、コミュニケーションが得意になったり、今までとは違った考え方を持ったりできます。ずっと住み続けるのは難しいと思うけれど、外国に行ってみることに憧れています。

しかし、留学をするには今よりももっと英語力を身に付けなければいけません。私は小さい頃から外国の言葉を話すことに憧れていたのですが、英検を取るための勉強もしていました。でも英検の勉強をしようとするとうとう面倒になり、次の級にチャレンジすることなく、勉強をやめてしまいました。私は英語が好きなのに、なぜネガティブな感情ばかり発生するのだろうと疑問に思いました。そこで、自分を見つめ直してみたところ、英検の勉強では、今まで英語に対して感じていた、かっこいいや憧れるといった気持ちが小さくなっていくことに気がつきました。英検に向けた勉強は、ワークを解いたり、単語を覚えたりと、学校の試験勉強に似ていました。だから、今までみたいに好きだから勉強するのではなく、合格するために勉強をするという気持ちが強くなっていました。たしかに、合格という明確な目標があった方が、それまでよりも必死に一生懸命勉強することができたけれど、英検を通して英語＝試験勉強というイメージがついてしまいました。英語は好きだけれど、試験勉強はそれほど好きではないので、英語が少し苦手だと感じてしまったのだと思います。

でも、今は留学に興味を持ったことで自分の中でその苦手なイメージが薄くなり、また以前のように憧れの気持ちが強くなってきているのを感じています。だから、今度こそは、また英語が苦手になってしまわないよう前回とは違う考え方、勉強方法にする必要があると思います。例えば、ただ問題を解くのではなくアプリなどを通して実際に外国人と話してみたり、留学についてよく調べて憧れの気持ちを保ったりしようと思います。そして、勉強からは手を抜かず、英語が好きな気持ちは大切にしていきたいです。

みなさんは好きなこと、好きな物がありますか。私は英語という言語を通して、好きとい

う気持ちの大切さに気づきました。好きだという気持ちがあればそれだけでやる気が出るし、逆に好きではなかったら、面倒くさい、やりたくないというネガティブな感情ばかり発生してしまいます。どんなことに対しても、それが好きという気持ちは大きな原動力になります。だから、みなさんも今好きだと思えるものがあるなら、その気持ちがなくなるないようにしてみてください。もし、なくなってしまうても、もしかしたらまた好きだと思える日が来るかもしれないし、特別好きだと思えるものがなくても、いつかそう思えるものと出会えると思います。とにかく、好きという気持ちは自分を動かしポジティブな気持ちにさせてくれる素晴らしい気持ちだから、皆さんにも大切にしてほしいです。私はこれからも、自分の好きという気持ちを見失わないように生活し、この気持ちを大切に守っていきたいです。